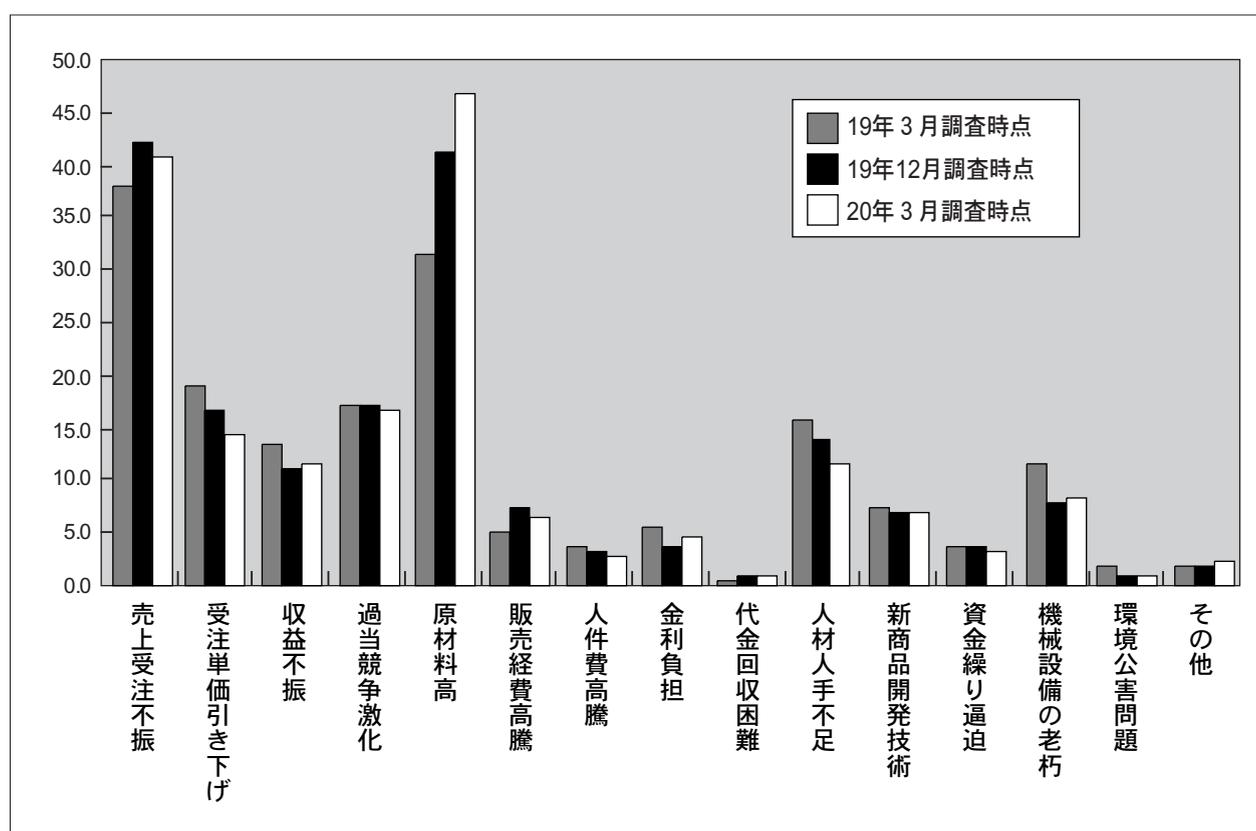


## IX. 当面の経営上の問題点

□ (%:複数回答あり)

	19年3月 (前年)	19年12月 (前回)	20年3月 (今回)	20年3月		前回は増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	37.9	42.3	40.8	(36.3)	(44.8)	-1.5
受注単価引き下げ	19.1	16.5	14.2	(15.8)	(12.9)	-2.3
収益不振	13.2	10.9	11.5	(10.5)	(12.4)	0.6
過当競争激化	16.9	17.0	16.7	(7.0)	(25.3)	-0.3
原材料高	31.5	41.3	46.8	(59.1)	(36.1)	5.5
販売経費高騰	4.9	7.3	6.6	(4.1)	(8.8)	-0.7
人件費高騰	3.9	3.3	2.7	(1.8)	(3.6)	-0.6
金利負担	5.6	3.8	4.4	(2.9)	(5.7)	0.6
代金回収困難	0.5	1.0	1.1	(0.6)	(1.5)	0.1
人材人手不足	15.6	13.7	11.5	(12.3)	(10.8)	-2.2
新商品開発技術	7.3	7.1	7.1	(12.3)	(2.6)	0.0
資金繰り逼迫	3.7	3.8	3.3	(1.8)	(4.6)	-0.5
機械設備の老朽	11.5	7.8	8.5	(11.1)	(6.2)	0.7
環境公害問題	1.7	1.0	1.1	(1.2)	(1.0)	0.1
その他	1.7	1.8	2.2	(1.2)	(3.1)	0.4



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①原材料高46.8%(前期比+5.5ポイント)、②売上受注不振40.8%(前期比▲1.5ポイント)、③過当競争激化16.7%(前期比▲0.3ポイント)の順となっている。
- (2) 今回調査では、原材料高を問題点とする企業が大幅に増加した結果となっている。製造業では、50%以上の企業が原材料高を当面の経営上の問題点としている。
- (3) これを製造業と非製造業に分けてみると製造業では原材料高59.1%、非製造業は売上受注不振44.8%が最も高いポイントとなっている。